
どうにもならない望み

早見淳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

どうにもならない望み

【Nコード】

N7769F

【作者名】

早見淳

【あらすじ】

地方出身の若者：敦が東京で派遣社員として働くが、会社からの突然の解雇通告に仕事や住む場所をなくし、夢も希望もなく後戻りも出来ない絶望の中に生きる人間模様を実話に基づき描いたものである。

第一話 挫折への道

今の願いは、あったかい布団で眠ること

この物語は派遣社員として働いていた主人公：敦が、平凡な毎日の繰り返しからの生活から一転、仕事をなくし、金もなくし、住むところをなくす危機的状況を描いた悲しき物語である…。

どうしてこうなっちゃったんだろう…。

大都会の東京の星も見えない暗い寒空の下、気温は…おそらく一桁であろう。

『ささるような寒さ』とはこの事を言うのだろうか。

敦は新潟の出身で、寒さには慣れている。また、スキーが趣味で、毎年必ず地元の新潟で、スキー場の住み込みバイトをしながら、スキーを楽しんでいた。

なので、多少の寒さは平気だ、と思っていた。

けれど…今は違う。

これから先の人生を考えた時の絶望感が、敦の体を一層冷やすのだ。

『何でオレが…』

重い足取りと厳しい寒さの中で、敦は繰り返しつづやく。ただただつづやく…。

『これからどうしよう…これからどうしよう…』

敦が新潟から出てきたのはちょうど三ヶ月前。フリーターであった敦は地元でたまたま手にした求人誌で見かけたのが、自動車工場での派遣社員としての仕事であった。

東京での住み込み、部屋も会社が用意してくれるとの事。給料も悪くない。

『東京にも行ってみたい…うまくいけば、東京で金がたくさん稼げるかも知れない…。』
今思えば、これが人生の分かれ道だった…。

こうして、敦の後戻りが出来ない物語が進んで行くのであった…。

無事、敦は東京の自動車工場で働く事になった。仕事内容はベルトコンベアに乗って流れてくる自動車に、ネジをつけるだけの単調なものである。難しい事はなかった。

敦は手先の器用さを活かして、仕事にもすぐに慣れた。

職場、というか、敦の周辺の人間はすべて敦と同じ派遣社員である為、同じ境遇の人間同士、すぐに打ち解ける事が出来た。職場環境は悪くなかった。

そして、仕事と共に始まった、東京での一人暮らし。

人と車の多さ、夜の街。新潟とは全然違う。

敦は刺激的な東京の生活を楽しみ始めていた。

敦は東京での新たな生活に大きな手応えを感じていた。

やれる 敦はこの上ない満足感を得ていた。

その時、敦に迷いはなかった。

ただ、無情にも敦にとって人生最悪の時間が刻一刻と近づいてくるのであった…。

UJU

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7769f/>

どうにもならない望み

2010年11月24日09時11分発行